|  |
| --- |
| **学校経営推進費　評価報告書（１年め）** |
| **１．事業計画の概要** |  |  |  |
| **学校名** | 大阪府立花園高等学校 |
| **取り組む課題** | 授業改善への支援（生徒の学力の充実） |
| **評価指標** | 1. 学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上
2. 学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動の意欲向上（主体態度の評価）
3. 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上（知識及び思考力・判断力・表現力の評価）
4. 希望進路実現率の向上（国公立大学及び難関私立大学進学者数の増加）
* 読書活動（年間読書冊数）の向上
 |
| **計画名** | 学びの劇的改革！「花園高校図書学習情報センター」の設置～「情報発信スタジオ」及び「校内教育資料横断検索システム」の整備～ |
| **２．事業目標及び本年度の取組み** |  |  |  |
| **学校経営計画の****中期的目標** | **１．学び続ける意欲と態度、確かな学力の育成**（1）授業力向上の取組みイ 「観点別学習状況の評価」を進め、生徒を中心に据えたビジョンを共有し、計画・実践（指導）・評価・改善（ＰＤＣＡ）を繰り返し、不断の授業改善に取り組む。（2）学習到達度の把握と学力伸張の取組みア １年次から学力生活実態調査、模擬試験等を利用して学習到達度を把握し、教科・学年・分掌が協働して基礎学力定着と応用的学力伸長に取り組む。（3）自学自習の習慣を確立する取組みイ 小テスト・朝学・補習・講習・週末課題など、これまでの教育実践がより効果的な学習になるようにＩＣＴを取り入れ、学習動画配信やオンライン学習の開発・実践に取り組む。　　ウ 読書活動によって教養を身につける経験をさせ、自主的な読書活動を支援する。※「生徒向け学校教育自己診断（以下生徒自己診断）」において、令和５年度までに「教え方に工夫をしている先生が多く、授業は分かりやすい」78％以上（R２：75％）、「授業・補習を通じて、進路に必要な学力を得ることができる」90％以上（H30：85％、R１：88％、R２：86％）、「宿題・予習・復習など、家庭学習の習慣がついている」60％以上（H30：49％、R１：42％、R２：56％）、また、令和５年度に読書を３年間で10冊以上の生徒80％を達成。**２．将来を見据えた進路を切り拓く力の育成**（２）探究的学習の推進イ 「総合的な探究の時間」や「花園進路探究プログラム」等で自発的に学び探究する能力を引き出し、全生徒が探究活動を通じて成長した実感が持てるよう指導する。ウ SDGsに係る探究活動において、当事者に共感し、真に当事者意識を持って課題解決する能力を養い、未来を創造する力を育成する。生徒自己診断において、令和５年度に「探究的な学習を積極的に取り組む」80％以上（R２：68％）、「自分の進路についてしっかりと考えている」80％以上（H30：77％、R１：77％、R２：75％）、また、第一志望大学への進学率70％以上を達成する。 |
| **事業目標** | **薄暗く閉塞感の強い図書館を、光と風の通う明るく開放感のある空間にデザインし、以下の機能を持たせる。**１ 「第４次大阪府子ども読書活動推進計画」に則り、本校が積極的に取り組んでいるSDGs探究活動や進路探究学習に読書活動を積極的に取り入れ、インターネットによる情報のみに頼らない、確かなエビデンスに基づく探究的学習を実践する。キャリアパスポート等に反映し、自らの進路を切り拓く力を育成する。２ 「情報発信スタジオ」を整備し、教員によるオンライン教材の開発に資するとともに、国内外複数地域との同時接続による交流、本校舎普通教室へのライブ配信などの機能を授業等で積極的に活用し、生徒の思考力・判断力・表現力及び主体態度を養う。同時に撮影した動画をアーカイブ化し学習教材として活用する。（グループ単位の高度なweb交流や発表準備の場としての活用を主とする。クラス単位でのweb交流はcall教室、学年単位でのweb交流は普通教室同時接続で実施し、使用用途の棲み分けを行う。）３ 「校内教育資料横断検索システム」を構築し、図書館や各教科準備室保管の書籍、探究発表や学校行事の映像や文書、各教科等の学習動画（授業、進学講習、人権学習、防災教育など）をアーカイブ化し、本校での日々の教育活動の全容を横断的に関連付けて、検索・閲覧できる「情報センター」をつくる。また、各資料には資料管理者や教員が付ける検索タグの他に、生徒が記述可能なタグ領域を用意し、資料の有機的な結合を促進する。４ 生徒にとって様々な情報が収集でき自学自習の学習環境を飛躍的に向上し、居心地の良い学びの空間を実現する。 |
| **整備した****設備・物品** | * 図書館への情報発信スタジオの設置（超単焦点プロジェクタ・電子黒板・無線LAN）
* 撮影・音響機材
* 動画編集用PC
* 書架・書籍・ミーティング用椅子・照明工事・遮光カーテン
 |
| **取組みの****主担・実施者** | 主担： 校長、教頭、情報化推進部、文化国際部、「総合的な探究の時間」検討委員会実施者: 全教職員、各教科（国語、社会、数学、英語、保体、理科・芸術・家庭・情報） |
| **本年度の****取組内容** | * 教科指導をはじめSDGs探究活動や進路探究学習等様々な教育活動に活用できるよう、教員から推薦図書を募り、また、中央図書館司書の指導のもと、近隣複数校の学校司書担当教員や大勢のPTA実行委員の協力も得て大幅な蔵書の入替えを行った。
* 書架を入れ替えて部屋を見渡せる配置に設置しテーブルや椅子も整えた。
* 生徒図書委員会による新着図書の案内や貸出業務を積極的に行い、図書の貸出冊数は昨年度87冊から今年度500冊へ大幅に増加するとともに、探究活動をはじめ授業で図書を活用したり紹介したりすることも増加した。
* ５月から「朝学」を再開して意欲的に学びに向かう態度を育成し、ご読書啓発キャンペーン期間を実施して読書への興味・関心を高める取組みを行った。
* 活用を促すため図書館紹介用動画を作成した。（URL:https://youtu.be/if4w7T\_7lzM）
* 図書館への情報発信スタジオ設置に向け、既設書架の撤去、照明工事、アクセスポイント設置工事や必要な物品の整備を行った。
 |
| **成果の検証方法****と評価指標** | 1. 学校教育自己診断における生徒の授業満足度「授業・補習を通じて自分の進路にとって必要な学力を得ることができる」の肯定的回答88％
2. 学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動「私は探究的な学習を積極的に取り組んでいる」の肯定的回答70％
3. 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（２年次２回め）B2以上30％、B3以上70％
4. 第一希望進路実現率65％、国公立大学及び難関私立大学（関関同立・産近甲龍・関西外大・京都外大）合格者80名
5. 年間読書冊数10冊以上の生徒40％
 |
| **自己評価** | 1. 学校教育自己診断における生徒の授業満足度「授業・補習を通じて自分の進路にとって必要な学力を得ることができる」の肯定的回答88％を達成した。主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に組織的に取り組んだ。 （○）
2. 学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動「私は探究的な学習を積極的に取り組んでいる」の肯定的回答76％。特に探究的学習に図書館を大いに活用した。 （○）
3. 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（２年次２回め）B2以上21％、B3以上60％、目標には達しなかったが健闘している。自宅学習の習慣がついている生徒数が増え、今後に期待したい。 （△）
4. 第一希望進路実現率66％ （○）

国公立大学及び難関私立大学（関関同立・産近甲龍・関西外大・京都外大）合格者150名。クラス担任や教科担当者の粘り強い指導や朝学や夏期集中学習会等の成果が表れた。 （◎）1. 年間読書冊数10冊以上の生徒８％。デジタル書籍やインターネットの利用等、読書の在り様が多様化しており、紙ベースの本を読む経験がほとんどない生徒への啓発が困難であった。教科指導と連携した仕掛けが必要である （△）
 |
| **次年度に向けて** | * 図書館業務及び国際交事業等を担当する文化国際部と本年度設置した情報化推進部を統合し、新たに総務部を設置し、式典や広報等の業務も担当する分掌として位置づけた。
* さらに総務部内に、情報課、国際科、総務課、図書学習情報センター課の４課を置き、各３～４人を配置して業務分担を明確にして生産性の向上を図るとともに、各ミッションに沿った課間業務連携を充実する。
* これらの業務を統括する総務部長を新たに首席に任命して、学校全体の体制を整えた。
* 当初の計画である「進路探究学習、授業実践、オンライン動画撮影、学習教材資源のアーカイブ化」に総務部を中心に取組むとともに、整備したスタジオを活用して関西大学等との高大連携事業、地域連携、国際交流事業等を積極的に企画・実践する。
* また、読書冊数を増やす具体的な取組みを授業や探究的学習に取り入れ、すべての生徒が「学期に１冊」は読書を行うことを新たな目標とする。
 |

**３．事業費報告**

